

# 子どものボタン電池の誤飲事故に気をつけましょう！

—電池の放電によるアルカリで消化管が損傷します—

ボタン電池は、高さが直径未満の円形の電池です。プラス(+)極やマイナス(-)極等の材料の組み合わせによって電圧が異なります。

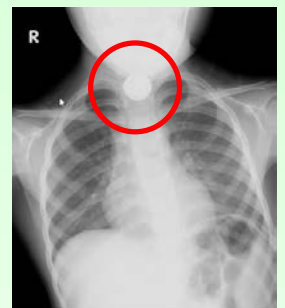
電池の種類	記号	製品の例	電圧(※)	使用機器の例	外観イメージ
コイン形リチウム電池	CR	CR2032、 CR2025	3.0V	LEDライト、体温計、歩数計、温湿度計、 リモコン、キーレスエントリー、腕時計	
酸化銀電池	SR	SR44	1.55V	腕時計	
ボタン形アルカリ電池	LR	LR44、LR41、 LR1130	1.5V	電子玩具、キッチンタイマー、LEDライト、 体温計、防犯ブザー、小型ゲーム機	
空気電池 (空気亜鉛電池)	PR	PR48、PR41	1.4V 1.45V	補聴器	

(※) 数値は、JIS C 8500:2022「一次電池通則」による公称電圧。

## ボタン電池を飲み込むと・・・危険！

ボタン電池が体内で消化管に接触して消化液等の電解質に電気が流れると、電気分解によってアルカリが作り出されます。

☞ 消化管壁が損傷(化学やけど)する恐れがあります。



## 鶏肉で試してみると・・・



10分後



※写真の電池と実際の事故とは関係ありません。

## 事故防止のチェックポイント

◆ボタン電池は、

☑ 絶対に子どもの手が届くところに置かない

◆ボタン電池が使用された商品は、

☑ 商品と電池の種類等を把握する

☑ 子どもの手が届くところに放置しない

☑ 落下しやすいところに設置しない(落ちた衝撃で電池が飛び出すことがあります)

☑ 電池収納部やふたに破損やねじ脱落などが無いことを確認する



もし誤飲したら ⇒ 直ちに受診です！  
誤飲したかもしれない

できれば誤飲した電池がわかるものを持参して。  
(同じ電池、パッケージ、使用されていた機器など)